

介護2割負担根拠示せず

小池議員追及、審議中断

医療・介護総合法案で介護保険サービス利用料を2割

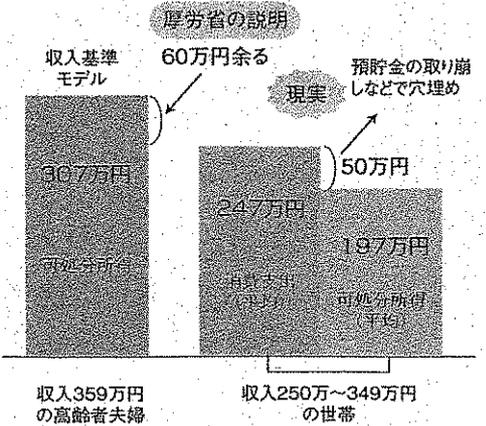


質問する小池議員
11月3日、参院厚労委

（現在1割）に引き上げず、委員会議は一時中断。年金収入280万円以下、負担増の論拠の破たん上の人について、「お金」が浮き彫りになり、石井みか余って負担能力がある。委員長は「後刻、理事の根拠データが虚偽だった。」と述べ、明の根拠データが虚偽だった。

たことが3日、わかりました。厚生労働省が示してきた。日本共産党の小池晃議員が参院厚生労働委員会で金280万円）と妻（基礎明らかにした。田村 年金79万円）の可処分所得憲久厚労相らは答弁できが年307万円のケースで

介護保険 2割負担の論拠のごまかし



姐分所得が年1097万円し
がなく、預貯金を取り崩す
などとして生活しているのが
実態です。

小池氏は「平均可処分所得が200万円にも満たない世帯の消費支出を、300万円以上の可処分所得と比べれば、お金があるのは当たり前だ」と指摘。「2割負担を合理化するための恣意（しい）的な資料だ。可処分所得307万円の世帯で、毎月お金が残って年60万円資産が増えるという想定は現実には合わない」と批判しました。

田村氏は答弁に立って、与野党の理事に「説明できるのか」と詰め寄られる事態に。委員長が速記を止めて協議したものの、田村氏は「根拠も含めて答えをつくるので、今日のところは許していただきたい」としか答えられませんでした。

小池氏は「2割負担が可能な根拠として説明してきたデータが間違っている」とは明らかに。2割負担の根拠は崩れている」と強調しました。